

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10030002

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4	簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17	上・下水道の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	水道の安定供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町簡易水道事業経営戦略策定事業					
事業期間	平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	経営戦略の策定					
事業目標	平成29年度策定					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	10 建設水道課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	経営戦略の策定(策定業務委託)					経営戦略の策定(策定業務委託)
	・総務省からの通知により、平成32年度までに全公営企業で策定率100%を目標として、策定が求められております。このことから、簡易水道事業の今後の経営基盤強化等に資することを目的として策定するものであります。 なお、簡易水道事業は、平成29年度から経営戦略の策定が地方交付税の算定要件に影響を及ぼすことになるものの、本町では影響がないため、公共下水道事業は28年度に先行して策定しますが、簡易水道事業は本町の最上位計画である総合計画の次期計画期間と併せて結びついた内容として29年度に策定するものです。					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	4,212	0	0	0	4,212
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	4,212				4,212	
一般財源	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,672	0	0	0	3,672
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	3,672				3,672	
一般財源	0					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
						※事務事業評価結果 A-終了
						策定
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	87%
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	0%	0%	0%	87%
		全体達成率				
		備考欄				

事業名	雄武町簡易水道事業経営戦略策定事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	水道業務係	作田 竜人

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町簡易水道事業	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	簡易水道事業の経営基盤強化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	将来にわたって安定的に事業を継続していくため、経営の指針となるべく経営戦略を策定し、更なる経営健全化に取り組む中で経営基盤の強化を図る。	① 経営戦略の策定	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	簡易水道事業のより一層の経営基盤強化と財政マネジメントの向上		目標値	1式策定
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	策定委託業務による経営戦略の策定	総合計画や公共施設等総合管理計画、人口ビジョン等を手がけており、本町の状況を把握している株式会社ぎょうせいに委託し、現状の課題分析を始め、将来的な財政状況の予測を行うなど経営課題を見極めたうえで投資・財政計画を盛り込み、総務省の示す事項に沿って取りまとめを行い、経営戦略を策定した。	実績値	1式策定
			達成度	100.0%
			②	目標年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	総務省の要請により、全公営企業において10年以上を基本とした中長期的な計画の策定が求められている。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	現時点では本町には影響ないが、計画策定の有無が地方交付税の算定額に関わっている。
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	総務省のガイドラインに基づき、投資・財政計画を策定することで、経営状況を把握することができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	平成30年度から平成39年度を計画期間とした中長期計画を策定することで、各年度における投資額の平準化や、水需要を考慮した性能の合理化を図っているため効率的である。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	また、本町の最上位計画である総合計画と計画期間を合わせることで効率的に試算している。
効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

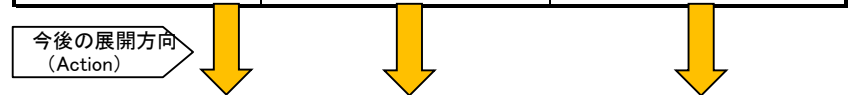
概ね公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	ほとんどの町民が簡易水道を利用しており、概ね公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/課題ない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通りかつ総務省の示す事項に沿って経営戦略を策定したことから、目標を達成した。		



終了		
今後、計画と実績が乖離した場合は、計画の見直しが必要と考えるが、策定自体は完了したことから、終了とする。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止